

～実証実験を通じて、新たな健康増進型の医療保険を開発～  
**三井住友海上、リマーク、メドリング、  
ベトナムで「スマート医療保険」開発プロジェクト始動**

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：船曳 真一郎）、インシュアテック企業のリマーク ジャパン株式会社（代表取締役社長：裴 崗）および、ベトナムで医療DX事業を展開するメドリング株式会社（代表取締役CEO：安部 一真）の3社は、ベトナムにおいて、クリニックと連携して健康増進を促す「スマート医療保険」の開発プロジェクトを立ち上げます。10月から実証実験を開始し、2021年度内に結果検証および新たな医療保険を開発し、2022年度の販売を目指します。

1. 背景

ベトナムの人口は年々増加し、コロナ禍においても経済成長率はプラス<sup>※1</sup>を維持しています。一方で、運動不足を一因として、経済を支える若年層の間で生活習慣病などの疾患を抱える人<sup>※2</sup>が、増加しています。また、ベトナムの公的な社会保険制度では、自由に治療先を選ぶことができず、より質の高い医療サービスを求める人が増えています。

そのような中、民間企業の提供する医療保険への期待が高まっており、三井住友海上は、健康増進アプリを開発するリマーク、ベトナムでクリニックを運営するメドリングと共同で、健康になると保険料の割引や特典が受け取れる、健康増進型の医療保険を開発します。

3社は、この取組を通じて、利用者の健康増進への意識向上と運動不足の解消を促し、ベトナムにおける疾患予防に貢献します。

※1 2021年上半期の経済成長率は+5.6%

出典：2021年7月、日本貿易振興機構「ベトナムの第2四半期GDP成長率、前年同期比6.6%（ベトナム）」

※2 18歳以上の人口に占める高血圧患者の割合は男性25%、女性21.6%

出典：2021年3月、経済産業省「医療国際展開カントリーレポート - ベトナム編」

2. 実証実験の概要

メドリングが運営するクリニックで実証実験のモニターを募集し、定期的に健康診断を実施します。取得した診断結果をリマークが開発した「AI疾病リスク予測エンジン」で分析し、数値化した健康指標をクリニックからモニターにフィードバックします。

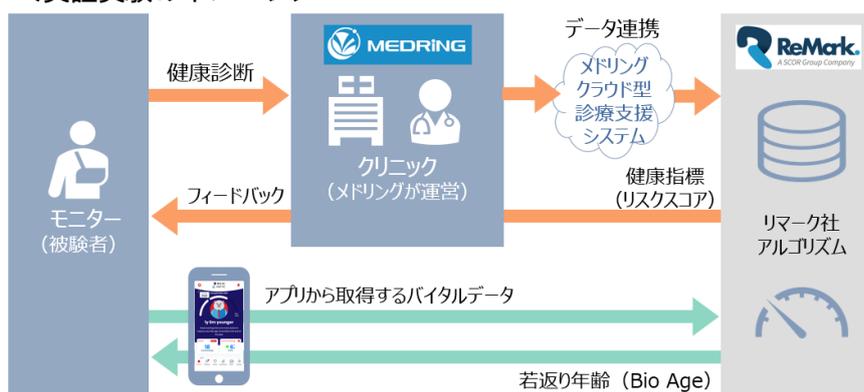
また、モニターにはスマートフォンやウェアラブル端末と連携する健康増進アプリ「GoodLife<sup>※3</sup>」を提供します。このアプリは、日常生活における歩数や安静時の心拍数、睡眠時間などのバイタルデータを取得し、活動結果を若返り年齢（BioAge）として表示します。

健康指標や日々の活動結果を可視化することで、健康増進に対する意識向上を図るとともに、健康指標が改善したモニターには、メドリングのクリニックを通じて商品券などの特典を付与する予定です。

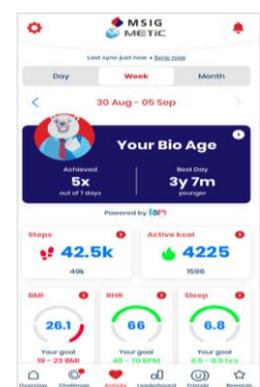
三井住友海上は、モニターや医療関係者における健康増進サービスの有用性を検証します。

※3 ライフスタイル改善を促すアプリ。リマークが独自のアルゴリズム（生物学的年齢モデル）を用いて開発。

<実証実験のイメージ>



<GoodLifeの画面>



※ベトナム語対応版を開発中

### 3. 今後

三井住友海上は今回の実証実験を通じて得られる知見やデータなどを活かし、ベトナムにおいて健康増進型のスマート医療保険を開発します。今後も3社は、健康増進やヘルスケアに関するノウハウを蓄積し、ベトナムにおける社会課題の解決に資するビジネスモデルの構築を目指していきます。

以 上